

協定内容

面積	田	畑	草地	協定参加者
98ha	98ha	—	—	75人
交付金総額 791万円	個人配分 (50%)	395万円		
	共同活動 (50%) 395万円	役員報酬等	40万円	農道・水路管理 270万円
		多面的機能増進活動 (景観作物)		60万円
		その他 (先進地視察研修等)		25万円

村全体で一協定、土地改良区が無償で事務代行

村の水田面積127haのうち、98haをカバーし、農業機械銀行を含めた村一本の協定です。

この制度は、事務量が膨大であるため、当初は取組みを躊躇され、平成12年度は3haでの実施にとどまりましたが、平館土地改良区事務局長が、「農家のためになるのであれば」と事務とりまとめの大役を担い、平成13年度から現在の面積で取り組んでいます。

カメムシの一斉防除など効率的な農作業の実施

大きな集落協定のメリットの一つは、広域的な活動がしやすいことです。平成11年度に、平館村はカメムシによる斑点米で落等が33.5%となり、大きな打撃を受けました。

しかし、協定で取り決めた一斉防除が功を奏し、平成13年度にはわずか1.5%となりました。一斉に草刈りをするため、カメムシ防除のみならず、村民から「集落がきれいになった」との声があがっています。景観作物としてコスモスが植えられている平館オートキャンプ場へ続く国道280号線沿いと福祉施設に面した高台は、村民の憩いの場所となっています。



村民の憩いの場



村産業祭での活動紹介

村民に対するアピール

村主催の産業まつり、これらの活動内容のパネルを展示したコーナーを設け、協定参加者だけではなく、広く村民に紹介しました。今後も、この制度の普及と理解を図るために、機会ある毎にアピールを行っていきます。

協定代表者の声



田村 力さん (71歳)

これまでの活動は、意見の調整とその説得、大人数による一斉作業の実施など困難なことが多く、役員の協力と事務代行の田中さんの努力に支えられて実施することができました。よりよい方向に変わりつつある集落を感じつつ、これらからも一生懸命やっていくつもりです。